

上方落語五流派競演会

寄席文字・橘右佐喜

露の新治

桂文枝

笑福亭鶴一

林家染左

柳亭小痴楽

桂二葉

2024年 6月23日 日 14:00開演(13:30開場)

茨木クリエイトセンター・センターホール

[全席指定] 1階席 4,000円 / 2階席 3,500円

65歳以上、障害者及びその介助者 各500円引き / U-25(25歳以下) 1,000円

茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き (この取扱いは財団のみ)

※就学前のお子様はご遠慮ください

予約開始 4月1日(月) 10:00~

主催：(公財) 茨木市文化振興財団 制作：三栄企画 構成・解説：相羽秋夫 後援：茨木商工会議所 / 茨木市観光協会



Vol.18

「今年は誰れ？」

春を迎えると茨木の街では、「今年の五流派は誰れが出演するのやる？」との声が始まる。

あたかも京の冬を彩る南座の顔見世興行のように、茨木の人々には、春の訪れと共にやってくる上方落語の人気者を、首を長くして待つておられるのだ。

上方落語界は、現在280人ほどの陣容を誇っている。その人たちは、大別すると5つの門下に分けることが出来る。

まず、「豪放」を売りものにした6代目松鶴を統領とした「笑福亭一門」。上方落語家で唯一の人間国宝に認定された3代目米朝を中心にした「米朝一門」。ほんなりとした芸風でうっとりさせた3代目春團治を仰ぐ「春團治一門」。女性を描かせては天下一品だった5代目文枝が率いた「文枝一門」。さらに4代目染丸を柱としてまとまる「林家一門」の5門下である。それぞれの門下には、芸の上での特色があり、そのことを誇りと思ひ、継承に心を砕いている。

そして、限らない門下への愛着で一門はがっちりまとまり、他の門下に敗けまいと必死の努力をしている。こうしたプライドがぶつかり合う落語会「五流派競演会」は、毎回多くの皆さんの共感を得て、すっかり茨木の名物となった。

今年で18回目を数える。当初は隔年に開いていたので、ゆうに20年を越える歴史を有している。ひとえに皆さんのご支援のおかげである。

今回も5つの門下の逸材が顔をそろえた。自慢の得意ネタをひっさげて、皆さんのお腹の皮をよじらせようと手ぐすねひいている、その横顔を紹介しよう。

桂二葉（によう）。米朝14番目の弟子の米二に薫陶を受けた13年目の若手。近年、数々の賞に輝き、関西はおろか、東京でも注目を集める女流だ。テレビ番組のレギュラーがあり、ますますその存在を大きくしている。

林家染左（そめざ）。染丸8番目の弟子。大阪大学で日本史を専攻した本格の理論派だ。28年目の油の乗り切った中堅で、寄席囃子や日本舞踊が達者である。受賞歴も豊富。学芸員の資格も有するマルチ落語家である。

露の新治（しんじ）。3代目春團治の弟弟子の2代目五郎兵衛6番目の弟子。もう48年の芸歴を重ねる。こちらも大阪市立大学（現大阪公立大学）卒の高



相羽秋夫（演芸評論家）

学歴家。『中村仲蔵』で文化庁芸術優秀賞を受賞した。

柳亭小痴楽（こちらく）。東京よりのゲスト出演。5代目痴楽の息子で、16才で入門した19年目の真打だ。小痴楽としては3代目だが、やがて6代目痴楽を襲名することになる。江戸前の芸を堪能して欲しい。

笑福亭鶴二（つるじ）。松鶴最後の20番目の弟子。もう38年目になった。明るい芸風から熱狂的なファンが多く、毎年独演会の入場券は完売の盛況である。鶴二も新治と同じ賞を受賞している実力派である。

桂文枝（ぶんし）。5代目文枝の総領弟子で58年目。ご存知三枝で全国的知名度を得るも、6代文枝を襲名。旭日小綬章、紫綬褒章、芸術祭賞、菊池寛賞など膨大な受賞歴がある。上方落語協会会長も歴任した。

と、いづれ劣らぬ名人上手。いづれが菅蒲か杜若。天こ盛りのご馳走である。聞き逃す手はないのである。（敬称略）

〈チケット取り扱い〉

※発売初日の電話受付はたいへん込み合う為つながりにくいことがあります。財団web、ぴあ、ローソンチケットをぜひご利用ください。

■茨木市文化振興財団・文化事業係（10:00～17:00）

【電話】072-625-3055 【web】www.ibabun.jp

【窓口】チケットカウンター クリエイトセンター1階/福祉文化会館（5月末まで）（10:00～17:00）

【コンビニ】ファミリーマート

■チケットぴあ（Pコード 524-671）http://pia.jp セブンイレブン各店舗

■ローソンチケット（Lコード 51728）http://l-tike.com ローソン・ミニストップ各店舗

〈茨木市文化振興財団でのチケット予約・購入について〉

※発売初日はweb・電話予約のみ（チケット引取り・窓口販売は翌日から）、初日電話予約は1回につき6枚まで。

〈予約〉お引き取り（予約方法により選べる引取り方法が異なります）

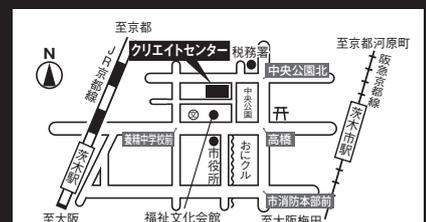
電話予約▶窓口・郵送*

web予約▶窓口・郵送*・コンビニ（セブン・イレブン・ファミリーマート）引き取り* ※要手数料

（郵便局での払い込み/郵送をお選びの場合）予約後、郵便局の「払込取扱票」でチケット代金+手数料をお支払いください。

口座番号:00970-7-190576、加入者名:茨木市文化振興財団、通信欄に①公演名②枚数をご記入ください。

〔公演に関するお問合せ〕 茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055（クリエイトセンター1階 10:00～17:00）



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。

クリエイトセンター（茨木市民総合センター）
大阪府茨木市駅前四丁目6番16号 **ibabun** 検索
072-624-1726